

働き方改革の病院医療への影響を正・負の側面から検討し、ワークライフバランス、満足度向上に寄与するのか、加えて人手不足の中でのタスクシフト・シェアの問題点を様々な職種の立場から議論を深めたいと思います。この他にACPと倫理、認知症の問題、メンタルヘルスに関しても取り上げ、更に今回は回復期・慢性期病院の立場から見た急性期との連携における多様な問題点についても議論して参りたいと思います。

横浜は首都圏でも人気の観光スポットですが、神奈川県全体としても箱根、鎌倉、湘南等々、多くの観光名所があり、交通至便で、あらゆる種類のグルメが揃っており、ご満足いただけるものと確信致しております。数多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

会 期：2023年6月23日(金)・24日(土)

会 場：パシフィコ横浜

プログラム(予定)：基調講演、会長講演、招待講演、特別講演、教育講演、教育セミナー、シンポジウム、会長特別企画、一般演題(口演/ポスター)、クリティカルパス展示、ランチョンセミナー、市民公開講座

問い合わせ先：第25回日本医療マネジメント学会学術総会
事務局 横浜メディカルグループ菊名記念病院
担当：漆原

〒222-0011 横浜市港北区菊名4-3-11

TEL：045-435-0330(法人本部代表)

FAX：045-434-0028

E-mail：jhm2023@knh.or.jp

運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社
担当：北里

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル14階

TEL：03-3508-1214 FAX：03-3508-1302

E-mail：jhm2023@convention.co.jp

(土)&オンデマンド：2022年2月7日(月)～2月27日(日))としました。すなわち、「特別講演」と「パネルディスカッション」は、ライブとオンデマンドで、「一般演題(49題)」はオンデマンドのみで開催しました。

「特別講演」には、延岡にゆかりのあるお二方をお招きしました。お一人は、九州大学病院産科婦人科教授／九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクトプログラム責任者である「加藤聖子先生」に、「時代に対応した働き方改革；病院における新しい男女共同参画を目指して」と題して、もうお一人は、元オリンピック日本代表コーチである「久世 由美子先生」に、「夢を夢で終わらせない人生」と題して、講演を賜りました。「パネルディスカッション」では、宮崎県新型コロナウイルス感染症対策調整本部特任医師／延岡市新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーである「佐藤圭創先生」に座長をお願いして、基調講演に引き続き、7名のパネラーの皆様と「新興・再興感染症の過去・現在・そして未来～新型コロナと戦っている医療現場から～」と題して、コロナについて熱く語って頂きました。また、「コロナに関する話題なら何でもOK!」というスローガンのもと、県内一円の医療に携わる多職種の皆様から申し込みがあった49題の「一般演題」(音声入りスライド動画)はそれぞれに興味深い内容になっていて、Web上での質問コーナーも設けました。

Web開催(ライブ&オンデマンド)ではありましたが、多くの参加者から、多様化する医療界の問題を「科学と情熱の融合」といった観点から、視聴することが出来たとの言葉を頂きました。

最後に、本学術集会にご登壇ならびにご参加頂きました皆様、協賛・寄付・後援頂きました皆様、そしてなによりも厳しいコロナ禍の中、精魂費やして準備してくれた県立延岡病院職員の面々に衷心より感謝の意を表します。

第18回佐賀支部学術集会

学術集会会長：伊万里有田共立病院院長 桃崎宣明

2022年2月12日(土)に第18回佐賀支部学術集会を開催いたしました。2021年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむなく中止しましたので、1年延期での開催となりました。現地開催は難しく、完全Web開催と致しました。

コロナ禍とはいえ、我が国における急激な人口動態の変化に変わりはなく、働き方改革は喫緊の課題と考えられます。そのため、今回のメインテーマは、「医療・福祉施設における働き方改革」としました。

支部学術集会開催報告

第14回宮崎県支部学術集会

学術集会会長：宮崎県立延岡病院院長 寺尾公成

1年遅れとなった標記学術集会を、2022年2月5日(土)にハイブリッド方式(現地&Web)による開催予定としておりましたが、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症蔓延のため、遺憾ながら急遽「現地開催」を中止とし、「Web開催」(ライブ：2022年2月5日